

特別講座

核燃料サイクル施設立地反対津軽地区連絡会議

第4回 市民講座



演題 **イギリス・セラフィールドからの報告**
— 核施設と地域社会 —

講師 日本女子大学家政学部家政経済学科准教授

秋元 健治さん

牧畜を行い、畑を作り、魚を捕りながら営々と営まれてきた田舎の生活が、原子力産業からつぎこまれた莫大な補助金に翻弄されていきます。小児ガンが増え、甲状腺ガンがひたひたと増えていく中で生きる地元民の不安。一見美しいまま、放射能を含む波が寄せて返す故郷の海を訪れる人はありません。「イギリス、セラフィールドの実態は、六カ所の未来の姿だ」と、秋元さんは書いています。

綿密な調査をもとに書かれた「核燃サイクルの間」。
核施設と地域社会は共存できるのか、セラフィールドの実態から問題の核心に迫る特別講座です。みなさん、ぜひご参加ください。

とき：8月27日（水）午後6時～8時
ところ：弘前文化センター2階中会議室

参加費無料

◇どなたでもお気軽にご参加ください

主催：核燃料サイクル施設立地反対津軽地区連絡会議
代表：阿部東・安藤晴美・大坪正一・宮永崇史
連絡先：竹浪純 080-5229-6076

< 講師プロフィール >

1959年 弘前市生まれ
早稲田大学社会学科卒業
東北学院大学経済学研究科(経済学修士)、岩手大学大学院連合農学研究科(農学博士)
現在、日本女子大学家政学部家政学科准教授

著書「悠久の大地—インド農村物語—」(第一書林)「帰らざる祖国—占領地パレスチナ最前線—」(第一書林)「むつ小川原開発の経済分



